



5
 2020

主 題 (2 0 1 9 / 2 0 2 0)

国 際 会 長 : Building today for a better tomorrow. On the MOVE!
 「より良い明日のために今日を築く」 「さあ動こう！」

ア ジ ア 会 長 : Action! With Pride and Pleasure.
 「アクション！」 「誇りと喜びを持って」

西 日 本 区 理 事 : Be wind, Be light. Spirit and Purpose in our Lives.
 「風となれ、ひかりとなれ」「こころ豊かにあるために、輝くために」

中 西 部 長 : We can do it!
 「為せば成る！」

大 阪 ク ラ ブ 会 長 : Let's enjoy Y's Life!
 「楽しもうワイズライフ！」

会 長	脇 本 博
直前会長	脇 本 博
副 会 長	清 水 汎
	豊 島 正 利
	森 嶋 弘 明
書 記	北 村 知 三
会 計	牟 大 盛
ブリテン	清 水 汎
連絡主事	濱 添 吉 生

【今月の聖句】

イエスはトマスに言われた。
 「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」
 ヨハネによる福音書 20 章 29 節

【聖句に寄せて】

田尻 忠邦

一人ひとり、生活の場があり、人間関係があり、重荷を負い、苦しみを抱え、疲れている“私”のもとに、神様は御言葉を通して、聖霊となって来てくださいます。私たちを受け止め、愛してくださいます。その愛は、形として、結果として目に見えるものではないかも知れません。けれども、私たちも「見ないのに信じる人」にならせていただきたいのです。

(坂戸いずみ教会礼拝説教集より)

【巻頭雑感】

清水 汎

新型コロナウイルスがますます世界に蔓延しています。4、5人以上の集まり、満員電車、密室での集まり等、条件が悪ければ簡単に感染してしまうようです。人の集まり、金の流れで今の社会は成り立っており、グローバル化、自由往来、人との交渉で動いている社会が、突然閉鎖されたら生活が成り立たない状態です。ワイズがその一例です。経済の成立、人の収入が閉ざされた場合、生きていくのも大変な状態になると思われます。リーマンショックの時は、企業、金融が非常な打撃を受けましたが、コロナでは、世界中の人々個人が大変なマイナスの影響を受けています。

人間は、地球上で最も優れた頭脳を持ち、最も残酷な才能を持った生物だと思います。多くの動物を虐

殺し、それらからその報いを受けているかもしれません。このウイルス騒ぎがいつ収束するか、そのあとはどのような状態になっているか、大変気がかりなことです。欲の強い人間がこの状態を脱皮するのは、神に祈るしか救いはないのでしょうか。

【5月例会プログラム】（LT強調月間）

2020年5月12日（火）開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のための政府と大阪府の緊急事態宣言を受け、5月例会は**中止**となりました。

◆今月のお誕生日：該当なし

◆メネットさんお誕生日：該当なし

◆ご結婚記念日：藤岡宏樹（3）、清水汎（11）、清水民夫（22）、牟大盛（30）

【第2例会のご案内】

と き：2020年5月19日（火）

インターネット第2例会とする。

（変更になることもあります）

【4月出席状況】

4月例会が中止となったため、出席表もニコニコ献金もありません。

【4月第2例会・役員会報告】

日 時：2020年4月21日（火） 例外的にネット役員会とする。

場 所：インターネット第2例会とする。

協議事項：

1) 5月例会（LT強調月間） 5月12日（火）18：30～

の予定であるが、4月例会に続き、政府と大阪府の緊急事態宣言を受け5月例会も**中止**とする。

— 6月例会（年間評価、次期計画）6月11日（火）は、状況を見て判断する。

2) その他協議・報告・確認事項

① 他クラブ周年記念の件

— 京都ウエストクラブ創立40周年記念例会 5/5（火・祝）（京都国際会館）**中止**

② その他イベント

— 6月13日（土）西日本区大会（場所：琵琶湖ホール・琵琶湖ホテル）**中止**

③ ブリテン編集の件：

―例会報告担当者：4月（中止）北村メン（中止）5月脇本メン 6月植野メン

―5月号原稿について、メンバーの皆様から今回のコロナに関する感想や、その他、みなさまにお伝えしたい考えや随筆など、自由なテーマで記事を募集する。

④ 来期の会長と次次期中西部部長の人事について

―牟大盛メンが次期会長としてクラブの承認を受けたこととし、3役の書記は北村メン、会計は植野メンを指名した。その他の事業委員は原則として今期と同様とする。

―次次期中西部部長候補は牟大盛メンを承認する。

⑤ パサディナクラブ交換留学生（受け入れ）は来年に延期することとする。（パサデナ会長了解）

⑥ 今年のHH国内キャンプは、お盆の時期に阿南で行うことが予定されている。

⑦ 次年度の8月納涼例会の日時場所については、新型肺炎の状況を見ながら決める。

⑧ 豊島正利メンは5月23日付で大阪クラブを退会し、5月にチャーターされる新クラブのびわこ部高島クラブへ転入会予定のため、手続きをとる。

⑨ 5月以後の第2例会について

―5月第2例会も、4月第2例会同様、一旦メールを通した会議とする。

【新型コロナウイルス（武漢ウイルス）のパンデミックに思うこと】

脇本 博

2020年の年が明けて間もなく、中国の湖北省武漢で新型コロナウイルスを病原とする新型肺炎で多数の犠牲者が出ているという事実があるにも拘らず、WHOのテドロス・アダノム事務局長は中国政府のウイルス対策を賞賛し、パンデミックには至らないとの見通しを述べたために、各国の新型コロナ対策が遅れてしまいました。特に日本は地理的、経済的に中国との関係が深いので、中国との往来の停止が遅きに失った感があります。そのため瞬く間に感染が広がり、現在の状況があるように思います。

1人の保菌者が2人に感染させるとすると、次は4人が感染します。最初は等比級数的に感染者が増えていき、ついで指数関数的な感染者の増加に移行し、オーバーシュート（サージ）となりパンデミック（世界的大流行）になっていきます。『パン（汎、すべて）』と『デミア＝デモス（民衆）』というギリシャ語が語源です。人種、性別、年齢、貧富の差に関わらず皆に平等にこの厄災は降りかかります。

4月7日に安倍首相が日本の7都市に緊急事態を宣言し、16日にはさらに地域を拡大し、全国に緊急事態宣言を発出しました。欧米のように従わなければ罰金を科すような強制的な外出禁止令ではなく、あくまで国民への要請という形です。現行の法体系では、国民への強制は出来ないのかも知れませんが、強制となるとこれは圧政になるという判断があったようです。うがった見方をすれば強制となれば補償請求の問題が出てきますので、それを避ける判断かも知れません。しかし圧政であってはいけないという高い見識は褒められて良いように思います。

すでに多数の死者を出している欧米は、日本のやり方を注視しています。民度が高く清潔好きで、強制されなくても礼節をもって正しい行動ができる日本人の特性でもって、オーバーシュートを起こさないよう各人自粛して、この困難を克服し、国内が落ち着き、ワイズダムにおいては例会開催をはじめとするワイズ活動が早く正常化することを祈っております。

【Build back better】

末岡 祥弘

今年になって世界中は経験したことのない危機に突入しています。YMCAもこの2月以来、卒業式、感謝礼拝、入学式など、人生の節目に必要な、感謝と信頼、絆を作る機会が奪われてきました。目には見えない大事な機会が、眼に見えないウイルスによって奪われています。

「Social distance—人と近付かない」「Stay home—家から出ない」

土佐堀や南の会館に出勤する人数も減り、在宅テレワークのWeb会議が多くなりました。この中で、生きていくにあたって大事な事をあらためて考える機会を与えられています。「人と人が触れ合う重要さ。自分より相手を大切にす暖かさ。人が集まり語りあう自由。」

危機の中では弱い者に皺寄せがいきます。

緊急事態宣言以降、殆どのYMCA活動が停止せざるを得ない中、高齢者介護事業や保育園などの活動は続けられています。関わるスタッフ一人一人は賢明にその使命を守ってくれています。その姿に希望を見だし、心から感謝しています。

BBB=Build back better（再建は前よりよいモノに）という言葉が語られています。危機の後、我々が作る次の世界は Build back better でありたいと願います。

希望を持って共に生きる社会へ BBB！

【親善の心】

植野 正弘

私は、自宅付近の大川沿いをその日の気分で2、3時間、天満の天神さんや大阪城、逆に足を伸ばして淀川べりへと日課にウォーキングを楽しんでいます。今は一年で一番自然の素晴らしい時期だと思います。今年は桜の盛りが例年よりも長く感じられました。そして、今はツツジが咲き誇っています。

最近、普段の光景に大きな変化が現れてきました。通称パンダ公園と呼ばれる広場では、従来保育園児が午前中遊んでいる程度でした。しかし今、親子連れ（お父さんの姿が圧倒的に多い）や小・中学生等、たくさんの人々が集うようになりました。また、大川沿いの遊歩道も夫婦や家族連れ、ジョガー等これまで会う事の無かった方々が行き交っています。

昨今、コロナウイルスの影響で社会全体の閉塞感が半端ではありません。緊急事態宣言が出されて以来、あらゆる社会生活が自粛自粛、移動もままならず、全てのスケジュールがキャンセルとなり、家庭で耐える毎日が世界全体で続いています。そんな折、つい先日、SNSでJCCCNCのリチャード・ハタ氏がイースターを祝って、2年前と題して「親善」について当時の写真と共に以下のコメントを投稿していました。

Happy Easter to my many friends in Japan. I love u all-stay safe and healthy-We can do - this like we did Shinzen.



この投稿を契機に、他の JCCCNC のメンバーの SNS を興味深く見るようになりました。JCCCNC の現在の活動状況や個人の思い出、家庭での過ごし方、各種スポーツの動画や料理の紹介、今夢中に取り組んでいる事等、明るく元気に過ごされている様子が伝わってきて、元気を貰っています。JCCCNC の理念の一つに、「日系アメリカ人のコミュニティ、アメリカ人、日本の人々との理解と感謝を高める」とあります。その根幹に根付いているのは日系アメリカ人の過去に、精神的にも肉体的にも困難な時代を生き抜いてきた人々だけが持つ、懐の深さ、温かさ、連帯の大切さ、互いに相手を思いやる心、絆を窺い知る事ができます。JCCCNC は阪神淡路大震災・東日本大震災等の際には「親善プログラム」をいち早く立ち上げ、被災地の方々に夢と希望を与え、今も尚、相互に交流する等、継続的に支援されています。

世界中がコロナと戦っている今、国を超え連帯できる仲間がいる事が大きな救いであり「親善」の絆を今後も育み、「親善の心」を持って、乗り越りたいものです。

【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

☆早天祈祷会☆

以下の早天祈祷会の中止が決定しましたので、お知らせいたします。

第324回早天祈祷会 4月17日（金）

第325回早天祈祷会 5月15日（金）

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

しんぼうが 人生のため 大切だ

我先に 競えば徳は 逃げてゆく

躓いた 石に感謝の 今がある

歳月が 笑い話に してくれる

長生きも 夫婦仲良く 助け合い

新型コロナ 人の生き方 試される

【編集後記】

全く思いもかけない事態に今なっています。天と地がひっくり返るような思いを皆さんが感じておられると思います。この状態が1年以上続けば、いまの社会での生き方にそれぞれの人生に大きな影響を及ぼすと思います。神の力に、人が祈るしかないように思われます。

（編集委員：清水 汎）